

本年も第61回日本小児血液・がん学会学術集会(檜山英三会長/広島大学病院 小児外科)、第17回日本小児がん看護学会学術集会(祖父江育子会長/広島大学大学院 小児看護開発学)のご協力を得て、公開シンポジウムを開催致します。皆様のご参加をお待ちしております。

入場無料

3団体合同公開シンポジウム

第61回日本小児血液・がん学会学術集会
第17回日本小児がん看護学会学術集会
公益財団法人がんの子どもを守る会

「小児・AYA世代のがんと生殖医療を考える～さまざまな選択～」

2019年
11月16日(土) 13:00~15:30

会場：広島コンベンションホール 2階
〒732-0057 広島県広島市東区二葉の里3丁目5-4広テレビル

2017年に「小児、思春期、若年がん患者の妊孕性温存に関する診療ガイドライン」が発行されるなど、小児がん医療においても生殖医療が考慮すべき重要な課題とされてきています。特に小児がんは、年齢や治療開始の緊急度、患者への説明と理解などから、必ずしも温存療法の適応となとは限らず、小児・AYA世代がん患者の中には失われているかもしれない妊孕性を抱えながら人生を歩む方も

少なくありません。

そこで、本シンポジウムでは、現在の小児がん患者の温存療法、不妊治療、特別養子縁組などの子どもを持つことだけでなく、子どもを持たない選択への支援も含めた講演をいただき、闘病中及び治療を終えた小児・AYA世代がん患者家族にとって有用な情報が得られる場となるようにしたいと考えております。

座長：細井 創 (日本小児血液・がん学会理事長/京都府立医科大学大学院 医科学研究科 小児科学)
上別府 圭子 (日本小児がん看護学会理事長/東京大学大学院医学系研究科 家族看護学分野)

シンポジスト

二村 学 (岐阜大学医学部 腫瘍外科)
AYA世代がんの臨床上の課題：妊孕性温存の実践と問題

原 鐵晃 (県立広島病院 成育医療センター 生殖医療科 主任部長)
がん・生殖医療の生殖医療専門医としての実際と小児期妊孕性温存の課題

笹木 忍 (広島大学病院 看護部)
小児がん経験者への妊孕性にかかる支援と課題

西田 知佳子 (認定NPO法人 環の会)
特別養子縁組などの制度について

平澤 一郎 (がんの子どもを守る会会員)
小児がん経験者として不妊とどう向き合うか -子どもを持ちたい立場から-

宮川 智子 (がんの子どもを守る会会員)
小児がん経験者として不妊とどう向き合うか -不妊治療をしない選択をした立場から-



チャリティイベント

参加費は小児がん患児・家族のために活用いたします。

チャリティマラソン・ウォーキング 1.5~5Km程度
11月16日(土) 早朝予定

主催:第61回日本小児血液・がん学会学術集会、第17回日本小児がん看護学会学術集会、公益財団法人がんの子どもを守る会

おりづるタワー見学会:聡子を語る
11月16日(土) 11:00~13:00(昼食付)

主催:第61回日本小児血液・がん学会学術集会、第17回日本小児がん看護学会学術集会、公益財団法人がんの子どもを守る会

MAZDA Zoom-Zoomスタジアム広島見学ツアー(100名限定)
11月15日(金) 11:00~13:00(昼食付)

主催:第61回日本小児血液・がん学会学術集会

申込方法や参加費など詳細につきましては、
今後右記のホームページに掲載されます。

<http://www.c-linkage.co.jp/jsphoannual/info-events.html>

主催: 公益財団法人 がんの子どもを守る会



〒111-0053 東京都台東区浅草橋1-3-12
TEL 03-5825-6311/FAX 03-5825-6316

共催: 第61回日本小児血液・がん学会学術集会 第17回日本小児がん看護学会学術集会
後援: 厚生労働省、広島県、広島市、公益社団法人 日本小児科学会、
特定非営利活動法人 日本小児外科学会、一般社団法人 日本小児看護学会

関連団体紹介コーナー

11月14日(木)
-16日(土)

8:30~18:00 ※最終日は16:30まで

会場:
広島コンベンションホール

小児がんに関する患者会や支援団体などの資料を積み置き展示いたします。